

札幌市立白楊幼稚園

〒001-0024

北区北24条西7丁目1-10

【白楊小学校との連携～「5・5デー」を中心に】

- ・「5・5デー」は計20回行った。5年生と年長児がペアを決め、そのペアを6グループに分けて一年間活動してきた。年長児の遊びに5年生が入って一緒に遊ぶ交流、5年生が主体となって遊びを進める交流、学芸会児童公開日の見学、給食体験を含むお別れ集会など、教師同士打合せをしながら計画的に進めてきた。また、6月には、年長組担任が5年生の総合的な学習の時間の授業に参加し、「5・5デー」を進める上での質問、疑問に答えた。7月には小学校の研究授業で年長児との交流場面を、10月には札幌私幼の教育研究大会で5年生との交流場面を公開し、様々な方からご意見をいただく機会となった。
- ・小学校の畑やビオトープ、グラウンドの利用の他、中休みの時間には、グラウンドと園庭のフェンスにある出入り口「仲良しドア」を開放し、小学生が自由に園庭に出入りできるようにし、日常的な交流も心掛けてきた。

【成果】

- ・「5・5デー」を楽しみにし、5年生に甘えたり、教えてもらったりしながら、関わってもらえるうれしさを感じている。また、5年生が丁寧にに関わり、遊び方やルールを教えてくれることで、園ではなかなか取り組まない遊びを経験したり、苦手でもやってみようとしたりする姿が見られた。
- ・「5・5デー」の経験を生かし、5年生がしてくれたように3、4歳児に優しく関わろうとする姿が見られた。
- ・教師同士の密な打合せ、年間通したペア、回数を重ねることにより、互いに育ちにつながる交流になった。

【考察】

- ・幼児との遊びに戸惑っていた児童も、回を重ねることで徐々に自分なりに言葉をかけ、そばで寄り添いながら幼児の気持ちを理解したいという思いで関わる姿が見られた。
- ・5年生主体の遊びでは、「どうすれば園児に分かりやすいか？どんな遊びなら楽しんでくれるか？やりたくない子にはどう接すればよいか？」など、自分たちにできることは何かを考え、授業を振り返り、次の授業で改善につながっている様子が見られた。
- ・今後は研究の面でも教師同士連携していくことで、より互いの教育への理解を深めていきたい。

遊び方分かった？



宝はどこかな？



また遊ぼうね！



ありがとう！
楽しかったよ！

そうせい幼稚園

〒001-0924

北区新川4条13丁目2-41

【新光小学校との連携】

年間4回程度の1年生との交流を行っている。

◆種いもを植えよう（5月）

植え方など、1年生に教えてもらったりしながら進め、終了後には遊具で一緒に遊ぶ交流をはかっている。



“小学校の畑で一年生と一緒に種イモを植えている様子”

◆おいもほり・おいもパーティー（9月）

いもの収穫後は、ボランティアの保護者が、芋を茹でてくれ、インタビューで感想を聞き合ったりしながら交流している。

◆学習発表会見学（11月）

1年生の練習風景を見学している。声の大きさ動きなどを見学し、自分たちの発表会に向けての意欲を高めることにつながっている。



「おいもパーティー。」

◆小学校探検（2月）

学校内の様々な教室を見学したり、1年生の授業風景を見学させてもらったりしている。また、学校の先生への質問コーナー等を設け、子どもたちの疑問や不安などにも応えて頂く場面も設けている。

【成果】

- ・小学校に行くことをとても楽しみにしている。また、卒園した友達と会えるのもうれしく思っているようだ。特に3学期は不安定になることも多かったが、連携を始め、年に数回ではあるが、実際に学校に行くことにより、不安よりも期待をもつ子が多くなってきた。また、学習発表会や授業風景の見学は、より現実的にとらえることが出来るようで、とても関心をもって見学している。

【考察】

- ・保護者も、小学校との交流があることで、就学がスムーズだと大変喜んでいる。
- ・上記活動以外に教師間での幼小懇談会も行い、卒園後の子どもたちの様子等を聞いたりしながら、お互いの教育活動の充実を図ることができている。

あいの里大藤幼稚園

〒002-8073

北区あいの里3条3丁目1-2

【 小学校と幼稚園の交流 】

あいの里大藤幼稚園では、公園を挟んで隣にあるあいの里西小学校と子どもたち同士の交流を行なっています。今年度は、5月に小学校の運動会の練習を見学に行きました。お兄さん・お姉さんが速く走る姿に幼稚園の子どもたちは、大きな声援を送りましたよ。

2回目は、11月の小学校の職業体験で幼稚園に遊びに来てくれるお兄さん・お姉さんへ質問やこんなことをして遊びたい！とお手紙と招待状を作成。幼稚園へ来園した時に、質問にも答えてくださり楽しい時間を過ごしました。

3回目は、2月末に小学校探検へ出掛ける予定です。



こんにちは！
頑張ってるねー！



【 成果・考察 】

今年度は継続的に小学校との交流をもつよう取り組みました。以前との変化は、子どもたちが小学生を意識するようになりました。自園の園庭は遊歩道の隣で小学生の通学路です。園庭で遊んでいる時に小学生を見かけるだけで、近寄っていく光景が増えました。また、先生も小学校の先生とお話しをする機会が増えました。私たちがイメージする小学校の様子と現実の違い、安心して年長さんを送り出す環境が作れると感じました。しかし、課題も見つかり小学校・幼稚園の日程を組むことが難しいこともありました。来年度は、反省をふまえ年長児以外の年中・年少児との交流も深めていきたいと思えます。

社会福祉法人ナーサリー虹の会 新川西さくらこ保育園

〒001-0931

北区新川西1条4丁目2-45

【新川小学校との連携】

4月6日(水) 新川小学校の入学式に参加する。(園長)

5月19日(木) 年長、年中児の徒歩遠足で新川小学校に徒歩遠足に出かける。

体育館、グラウンドで遊ぶ。中庭で弁当を食べる。

6月15日(水)、24日(金) 新川小学校の体育館を借り、運動会の練習を行う。

7月2日(土) 新川小学校の体育館で運動会を行う。

11月16日(水) 新川小学校発表会の児童公開日に参加する。(年長、年中、年少)

11月20日(日) 新川小学校発表会を見学する。(園長)

12月3日(土) さくらこ保育園の発表会に校長が来園される。



【うんどうかい】



【成 果】

- ・小学校体育館をお借りしての運動会は3回目を迎え、準備も本番も順調に進めることができた。
- ・小学校発表会の児童公開日に年長、年中、年少児を連れていくことができた。担当の先生と電話やメールでやりとりし、話しやすい関係になれた。
- ・校長先生が保育園の発表会を観に来てくださった。

【考 察】

- ・小学校の体育館をお借りしての運動会も定着し、保護者も室内でできることに安心(天候、日差し、競技内容等)され、子どもたちとのふれあいの時間として楽しみにしていただいている行事となっている。ただ、車の乗り入れが多く、駐車場がいっぱいになってしまっているので周囲への迷惑も考慮し、今後の対策を考えなければならないところである。
- ・今年度初めて小学校発表会の児童公開日に年長、年中、年少児を連れて行くことができた。子どもたちは小学生の発表を真剣に見入っていた。ちょうど保育園の発表会の練習が始まっていたこともあり、発表している時の小学生の声の大きさやステージでの表現を見て大きな刺激となったようで、保育園に戻ってから「セリフを大きな声でゆっくり話していた」「セリフを言っていない時も演技をしていた」「出番を待っている時、静かだった」「入れ替わる時、とても早かった」など、気付いたことを話し合う機会ももて、発表会への意識が高まった。



【小学校発表会の見学】

一般社団法人 君島園
認定こども園 英伸幼稚学院

〒001-0912

北区新琴似12条16丁目12-12

・連携の様子

2016年12月14日（水）9：15～11：00
年長児20名と保育教諭2名+引率1名
札幌市立 屯田西小学校 へ学校見学に伺った。

・連携に至る経緯

事前に電話連絡にて教頭先生にお願いさせていただき、当初は、学習発表会の児童公開日に見学させてもらう予定だったが、インフルエンザの流行により日を改めることになった。

・連携先との関係

昨年からの連携させていただいている。
昨年も学校内の見学という名目で1度訪問。



写真1（広い体育館に感激の子どもたち。たくさん走っていいよ。と言われ、クタクタになる程走って楽しんでいた。）



写真2（パソコンを触らせてもらえた。学校で行われる授業がより楽しみになった様子）



写真3（家庭科室にて、テーブルの中から蛇口が出てきて驚いている様子。）

【成果】

- ・連携することで、小学校へ上がることへの実感がわき、期待と自覚がかなり高まった様子。
- ・園生活で年下の子を世話したり思いやる様子が今までよりも目立っていた。
- ・机に向かって行うことへの関心と集中力が高まった。

【考察】

- ・継続することのよさ

1年を通して2回～3回訪問させていただき、内容も小学生と関わりをもてるものも検討し、提案させていただきたい。学校行事の多忙さもあり、年度始めに相談させていただき、日程を決めてしまうことが好ましい。

札幌市立新琴似小学校

〒001-0907

北区新琴似7条3丁目2-1

【5年 総合的な学習の時間

「優しいお兄さん・お姉さんと楽しもう！」

日時 平成29年2月9日(木)10:40～11:10

場所 新琴似小学校 体育館

参加園	新琴似幼稚園	86名
	麻生明星幼稚園	28名
	新琴似保育園	21名
	新琴似中央保育園	14名
	麻生保育園	27名
	アートチャイルドケア新琴似保育園	12名
	アスク保育園	9名
	総計	197名

ねらい 5年：4月にお世話する子どもたちとの交流を通して、相手に応じた接し方を心がけ、社会性やリーダー性を育む。

園児：小学校高学年の児童との交流を通して、安心感と期待感をもたせる。

内容 集団遊びを通じた交流

5年生が企画、進行を行う。

簡単なダンスや遊びをする。

玄関まで園児を出迎え、見送りをする。



5年生が「おじさんのかさ」を読み聞かせ



5年生が振付を考えた「森のくまさん」



手をつないで「王様じゃんけん」

5年生と園児が「ゆっくり手つなぎ鬼」



【成果】

- 5年生は、園児との関わりの中で、園児を楽しませようと相手意識に立って取り組むことができた。園児と接する機会が少ないこともあり、どの子も意欲的に関わる姿を見ることができた。5年生も園児も双方楽しむことができ、また交流したいという気持ちをもつことができた。園児は入学への期待感を、5年生は4月からの新1年生との関わり方に自信をもつことができた。
- 今回、7園が参加したことで、園児同士、また園同志の横のつながりをもつことができた。
- 園児にとっても普段経験しない大人数の中での活動を体験することができた。

【考察】

- 例年、園毎に学校訪問で校内を見て歩いたが、入学すると学校探検の学習があるので重複すると感じていた。今回、5年生の学習の一環で交流した。児童と園児の交流が温かく、大変よい活動になった。次年度も継続を考えているので、実施時期も含めて、小学校、園双方の担当者が早めに連絡を取り合い、計画を立てていきたい。

【保育園との連携】

(1) 連携の様子

- 1年生が、校区内の保育園年長組と年間5回の交流を行っている。

- ① 7月 「はじめましての会」…屯田公園で一緒に遊ぼう
- ② 10月 「秋さがしの会」…江南神社でどんぐり遊びをしよう
- ③ 11月 「なかよしランド」…屯田小に招待するよ
- ④ 2月 「雪遊びの会」…屯田公園で雪遊びをしよう
- ⑤ 3月 「ありがとうの会」…交流楽しかったよ

- 2月に5年生が保育園年長組との交流を行っている。

新1年生となる年長組の園児たちを招待して学校の様子やどんな勉強をするのかななどを楽しく体験できるワークショップを行っている。優しくかかわる5年生の姿が見られる。

- 11月、学習発表会児童公開日に1年生の劇を観覧

児童席で観覧する園児を前に、1年生の子どもたちはとても張り切って発表していた。



秋さがし～木の葉やどんぐりを使って一緒に絵を描こう

(2) 連携に至る経緯

1年生の交流は、生活科の学習カリキュラムに位置付けている。5年生では、次年度に最上級生となる意識と意欲を高める活動となることを願って交流を始め、何年も継続している。学習発表会観覧は、幼保小連携推進協議会で、「学習発表会の観覧もさせていただきたい。」という保育園からの希望をもとに実施し、今回で2回目となる。

(3) 連携先との関係

校区内にある、歩いて2分ほどの近隣保育園なので、交流がしやすい。

【成果】

保育園との連携を通して、「どんなことをしたら喜んでくれるかな」「どんな声かけをしようかな」など、相手意識をもって関わろうとしていた。思いやりの心、表現力など豊かな心の育成につながった。

【考察】

昨年度の成果をもとにした保育園の先生と打ち合わせを通して、今年度さらにどのような交流を行っていくかを話し合っている。年々、交流がより充実したものになってきている。それぞれの子どもの成長につながる交流となっているので、今後も継続していきたい。

札幌市立茨戸小学校

〒002-8041

北区東茨戸1条2丁目2-1

【茨戸メリー幼稚園との連携】

小1プロブレムという問題が起きている昨今、幼稚園・小学校の接続がスムーズに行われるように情報を交流することや、園児や児童が実際に交流することで望ましい心身の発達を促進することをねらいとして、一昨年度から幼稚園との連携を積極的に進めてきている。

交流先の茨戸メリー幼稚園は、学校に一番近い幼稚園であり、毎年数名程度の入学がある、本校の子どもたちにとっては比較的身近な幼稚園である。計画的かつお互いの目的を明確にし交流を進めるために、年度当初に幼稚園と話し合いをもち、下記の3つの活動により、連携を進めてきた。

学習発表会への 幼稚園児の招待



10月に実施した学習発表会の児童公開日に、メリー幼稚園の年長クラス(57名)を招待した。

1年生の発表のみの観覧だったが、事前に1年生が生活科「学習発表会に招待しよう」の学習で作成した招待状を、2年生が幼稚園訪問の際に手渡すことで、お互いの意識を高めることにつながった。この交流により、1年生にとっては、発表への意欲につながり、幼稚園児にとっては、見たことの無い小学校のステージでの発表を楽しみ、小学校の行事への憧れにつながった。また観覧後、幼稚園からお礼のカードが届き、1年生にとって励みになった。

1・2年生「生活科」 カリキュラムに取り 入れる授業との 関連



1年生生活科「あそびらんどをひらこう」の学習でゲームの店を開いた時に、幼稚園児がお客さんとして参加する形の交流の場をもった。

学校では一番年下である1年生にとって、自分より年下の園児と一緒に活動することは、とても貴重な機会となった。「幼稚園の友達でもわかる説明は?」「自分から声をかけるとお店に来てもらえそう…」「このルールでは難しいな。少し易しくするには…」と、1年生だけの活動に留まらない、相手意識をもった交流は大変有意義なものとなり、この活動の反省が更に2年生を招待する活動に発展するもととなった。

また、2年生生活科「もっとなかよしまちたんけん」での校区探検の訪問先の一つに、幼稚園を組み入れた。幼稚園の施設を利用させてもらったり、園児とのふれあい交流を自分たちがリードして進めたりする体験から、自分たちの成長を感じることができた。3年目の交流となるが、交流担当教師が活動の反省を次年度の担任に伝えていく形を継続させていくことでより活動が充実してきている。

幼稚園教育から 学ぶ交流

一昨年度から継続的に、転任してきた小学校教諭が、幼稚園の施設や日常活動を見学する場を設定している。

入学前の園児の実態を把握したり、幼稚園教育の現状を知ったりする貴重な場となった。